平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	2 － 6

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	ふるさと発信CI推進事業					
評価者	担当課名		財務企画課	担当係名		企画調整係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	佐々木幸博		氏名	大水寛仁
事業の概要	個性豊かで魅力あるまちの形成を目的として、イメージにより広く雄武町をPRするため、CIデザインを活用したポスター・名刺台紙を作成するとともに、類似マークによる雄武町のイメージ阻害要因を排除するため、CIデザインの商標権存続期間更新を行う			全体計画（平成 20 年度～ 24 年度）		
				事業費	国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	千円
					一般財源	1,911 千円
					事業費計	1,911 千円
実施方法	■ 直営		民間委託		その他（　　）	
第５期総合計画（前期）	■ 登載事業		非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進			
	基本施策	22	住民主体のまちづくりの推進			
	単位施策	1	地域づくり活動の促進			
	事務事業の種類	■	自治事務		法定受託事務	
	その他計画・根拠等					

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	434 千円	千円	295 千円	403 千円	227 千円
	合計	434 千円	千円	295 千円	403 千円	227 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	町民及び町外者	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	さらなる雄武町の認知度向上	ポスター作成枚数、商標登録更新（1図形）		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	情報発信手段の媒体としたCIデザインの継続活用	① ポスター2種類各100枚作成	目標年度	平成23年度
			目標値	200 枚
			実績値	200 枚
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	雄武町の認知度向上及び交流人口の拡大	② 名刺台紙作成5,000枚	目標年度	平成23年度
			目標値	10,000 枚
			実績値	5,000 枚
			達成度	50 %

内容（どのような手段で何を行ったか）	
ポスター及び名刺台紙の作成	CIデザインを活用したポスター200枚（2種類～各100枚）、名刺台紙5,000枚を作成し、町のPRに活用した

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	本事業は、雄武町の統一的なイメージの確立を図るものであること、商標権の権利も雄武町が所有していることから、行政主導で行うべきものである

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	ポスターは町内外の施設に貼付され不特定多数の人の目に留まり、人から人に渡る名刺についても、町内外の人々にCIデザインを広める手段として有効である

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 ■その他	・ポスターについては、シンプルかつインパクトのある紙面構成とし、町の基幹産業のイメージを効率的に表現した ・名刺の作成にあたっては、過年の需要枚数及び在庫枚数を考慮し必要最低限の作成とし、可能な限りコスト削減に努めた

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	ポスター・名刺台紙については、町民・団体が広く活用できる体制であることから、町民の理解が得られ、公平性が確保されるものと判断する

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
町の情報発信手段の1つとして活用することにより、イメージの定着・認知度向上の一助となる		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
今後も、斬新でインパクトのあるポスターデザインの開発を進め、CIマークの活用も併せて幅広い手段によって継続的に情報発信に努める		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）